

第5B分科会 研究課題「教職員の専門性に関する課題」

研究主題「教職員の危機管理意識の向上と学校安全に向けての対応力の育成」

宮崎支会 6班

1 主題設定の理由

学校は、本来、児童生徒が安全かつ安心して学習に取り組めるところでなければならない。近年では、地球沸騰の時代と言われるように、異常気象も増えてきた上に、南海トラフ地震がいつ起きてもおかしくない状況もある。このような状況のもと、わたしたちは教育現場において発生する様々な危険やリスクに対して、常に危機意識をもって、より安全・安心な学校づくりに取り組んでいかなければならない。そこで、本研究では、地域の実態に応じた学校安全の取組に視点をあて、教頭はどのようにその役割を果たしていけばよいかを研究することにした。

2 研究のねらい

地域の実態に応じた学校安全の在り方とその中での教頭の果たすべき役割について明らかにしていく。

3 研究の概要と成果

(1) 各学校の取組と教頭の関わり

① 木花中

ア 取組

○ 避難訓練の実施

津波対応の訓練を、防災主任を中心に実施した。本校は高台にあるため、地域住民や周辺の小学生も避難してくる。そのため、津波がきたとき、3階の教室へ避難するが、地域住民ならびに小学生がどの教室へ入ってもらうかを、検討しながら実施した。



○ 地域と連携した防災への取組

9月19日が木花地区の防災の日となっており、生徒や地域の方々の意識の向上を図るため、宮崎大学の教授を講師として、講演会を行った。

イ 教頭の関わり

- 職員の防災に関する意識の向上のため、防災主任がどのように職員へ研修をすればよいかのアドバイスをを行った。
- 地域との連携については、教務主任や防災主任を中心に、連絡調整をお願いした。

② 赤江東中

ア 取組

- 防災に関する取組で、赤江東中PTA防災委員会、赤江東地区青少年育成協議会・赤江地域まちづくり推進委員会と協力して防災かまどベンチ訓練や災害救助資機材点検を行った。



イ 教頭の関わり

- 地域の方々との連絡調整を行った。また、PTAに防災委員会があるので、その委員長との連携調整も行った。生徒や職員への案内も教頭が行った。

③ 赤江中

ア 取組

- いのちを大切にする教育の実践で、SOSの出し方に関する教育について全職員での共通理解し、SOSの出し方について全校一斉授業実施するとともに、SOSの出しやすい環境づくりを行った。

- いのちの大切さを学ぶ教室という講演会を実施した。被害者遺族の方の話を聞き、警務課被害者支援室からのアンケート・感想記入を行った。

イ 教頭の関わり

- 企画委員会で教頭が提案をした。
- 職員会でSOSの出し方に関する教育の大切さについて説明を行った。

- 授業展開例、ワークシート、資料等の説明・準備を行った。
- 授業時実施についての時間調整を教務主任に依頼した。
- いじめアンケートを取る際に、SOSチェックシートの記入を依頼した。
- アンケート結果について、必ず学級担任等で確認するように指示した。
- 家族を亡くされた方の話であるため、事前に生徒に伝えるよう指示した。

④ 本郷中

ア 取組

- 第1学年が、12月に実施する防災訓練での避難所運営のために、必要となる知識や技能の習得に向けて、地域の方をお招きして継続した学習を行った。
- 防災コンサルタントに、防災に関する講話を行っていただいた。
 - 宮崎市消防局出張所所長に、防災倉庫内の機材の説明や防災かまどの使用方法等について説明を行っていただいた。
 - 生徒が主体となって避難所を運営していくために、6つの班（進行・校門誘導・受付案内・会場設営・炊事・プレゼン）を編成し、生徒主体で話し合いを行った。
 - 「本郷地区一斉防災訓練」での避難所運営に必要な防災かまどを使ってのご飯炊きなどの学習を地域の方に班ごとに行っていただいた。
 - 学んだことをもとに、地域の方の協力も得ながら、当日の避難所運営を行った。

イ 教頭の関わり

- 学校としての願いを伝えたり、地域の方の思いを聞いたりしたことをつなぐことで、より効果的な活動になるようにサポートした。
- 防災倉庫の中身の点検・管理を、地域の活動の一環として一緒に行った。

⑤ 青島中

ア 取組

- 職員のコンプライアンス意識向上の取組として、職員のコンプライアンス

意識を高めるため、定期的な研修を実施している。

- リスクマネジメントへの取組として、全職員で学校内のリスクを予想し、一覧表にまとめて可視化している。
- 交通安全対策の推進として、学校周辺の交通安全を推進するために、一時停止の看板を設置したり、生徒に交通安全の重要性を教えるため、下校時指導を行ったりした。

イ 教頭の関わり

- それぞれの研修を実施し、職員の意識の向上や定着を図った。

(2) 成果

- ① 防災主任へ避難訓練に対する視点をアドバイスしたことで、防災主任の意識が向上とともに、地域やPTAの防災に対する意識が高まってきた。
- ② PTAの意識が向上した。
- ③ SOSの出しやすい環境づくりに対する共通理解ができた。
- ④ 地域と学校とがうまく連携するようになった。
- ⑤ 職員のコンプライアンス意識が向上し、遵守行動が増加している。
- ⑥ 学校のリスクを可視化し、事前に対策を講じることができるようになった。

4 今後の課題

- (1) 地域を巻き込んでの防災教育を行っているが、地域で中心となるところが明確になっていないので、いろいろな組織と連絡調整が必要になっている。
- (2) 職員研修等を実施しているが、職員全体への周知徹底や継続的な取り組みが求められている。また、リスクマネジメントについては、リスク予想の精度の向上や継続的な見直しが必要となる。
- (3) 生徒の防災意識が高まるような活動をする中で、教師側の意識が低いことが、地域の方々の不満となっている。この不満を解消するために、教頭としてどのように関わっていくかが難しい。